

環境系高校成果発表会 兼進学（留学）相談会の実施報告

1. 日時・場所

日時：平成 30 年 3 月 25 日（日） 9:30～11:30

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木） 国際交流棟 第1ミーティングルーム

2. 参加校

- ・北海道標茶高等学校
- ・群馬県立尾瀬高等学校（生徒参加有り）
- ・埼玉県立いずみ高等学校（第 18 回全国高校生自然環境サミットの報告のみ）
- ・千葉県立津田沼高等学校（生徒参加有り）
- ・徳島県立城西高等学校神山分校、および神山つなぐ公社
- ・沖縄県立辺土名高等学校
- ・高知県立四万十高等学校（資料参加）
- ・群馬県立中央中等教育学校（代表理事の所属校。高校としての発表はなし）

3. 参加者数

中高生および保護者： 6名 参加高校の卒業生 ： 3名 参加高校の生徒 ： 10名
参加高校の職員等 ： 9名 合計 ： 27名

4. 相談会の日程及び内容

8：30 参加高校など関係者集合

⇒ 打ち合わせ（日程、内容、会場レイアウトなど）および準備

9：15 一般受付開始（受付は会場外に作成）

9：30 開会行事

① 全体説明

⇒ 本会のねらい、実施背景、環境系高校の社会的な意義、これまでの成果など代表理事（松井先生より紹介、自然環境サミットの紹介 VTR の上映

⇒ 当日の日程説明（荒井先生）

⇒ 各学校より約 1 分で全体向けプレゼンを実施

9：50 発表及び説明の時間

⇒ 各学校はブースで待機し、相談会参加者が各ブースを回る方法で実施した。

参加者を 3 グループに分けて、10 分間ごとに各ブースを移動させる方式で実施。

⇒ より細かい話を聞きたい場合は、会場に残り個別対応を行った

11：30 閉会行事 まとめの挨拶（代表理事：松井先生より）

11：40 片づけ・撤収

12：00 全体終了

5. 今後の検討事項（指導委員会が出た意見・アイデア）

- 各高校の成果発表会を中心にすれば、中学生だけでなく高校生にも参加を呼び掛けられる。学校の生徒募集の活動は、成果発表会の後に時間を設ければよい。
- つばさ総合高校の「環境サミット」で宣伝してはどうか？
- 都内などの中学校に対して、参加呼びかけを行う手段を考えてはどうか？
- 今年は、午前中の実施だったが、次年度からは午後がよい
- 成果発表を中心とするのはいいが、他にも発表会を実施している組織や団体があるのではないか？

差別化のためにも、事前に調べておくことが必要。

- 今年のような各校 10 分の説明や発表なら、事前に内容を吟味することが必要。

6. 広報活動について

- 主にweb媒体やメールを用いた広報活動を実施。

例) 尾瀬高校など参加校HPへの掲載、エコプロダクツ公式 Facebook、SENSEI POTAL、キャリアガイダンス、公益財団法人 風に立つライオン基金風に立つライオン・ユース事務局、全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人科学教育研究会、環境学習研究会、NPO 法人新宿環境活動ネット、環境ネットワーク・文京、みどり環境ネットワーク！ など

7. 会場の様子および発表内容



開会行事



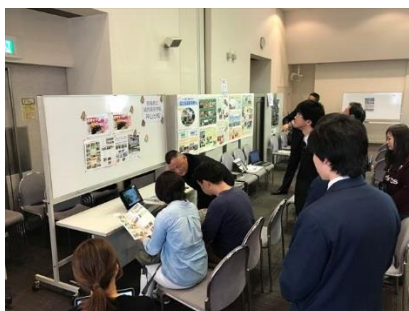
いずみ高校（第 18 回サミットの報告）



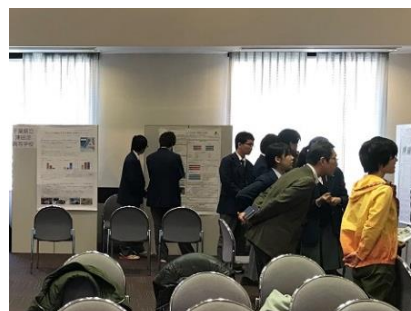
標茶高校（学校紹介・DVD上映・生徒募集について）



辺土名高校（学校紹介・成果物展示・生徒募集について）



神山分校（学校紹介・成果物展示・生徒募集について）



津田沼高校（生徒が3つの研究活動の成果発表）



尾瀬高校（生徒が学校紹介および研究活動の成果発表）



四万十高校（資料参加。代表理事より紹介）



閉会行事

8. 次年度の実施に向けて

- 平成31年3月24日（日）13:00～17:00 オリンピックセンター200 人室を予約済み